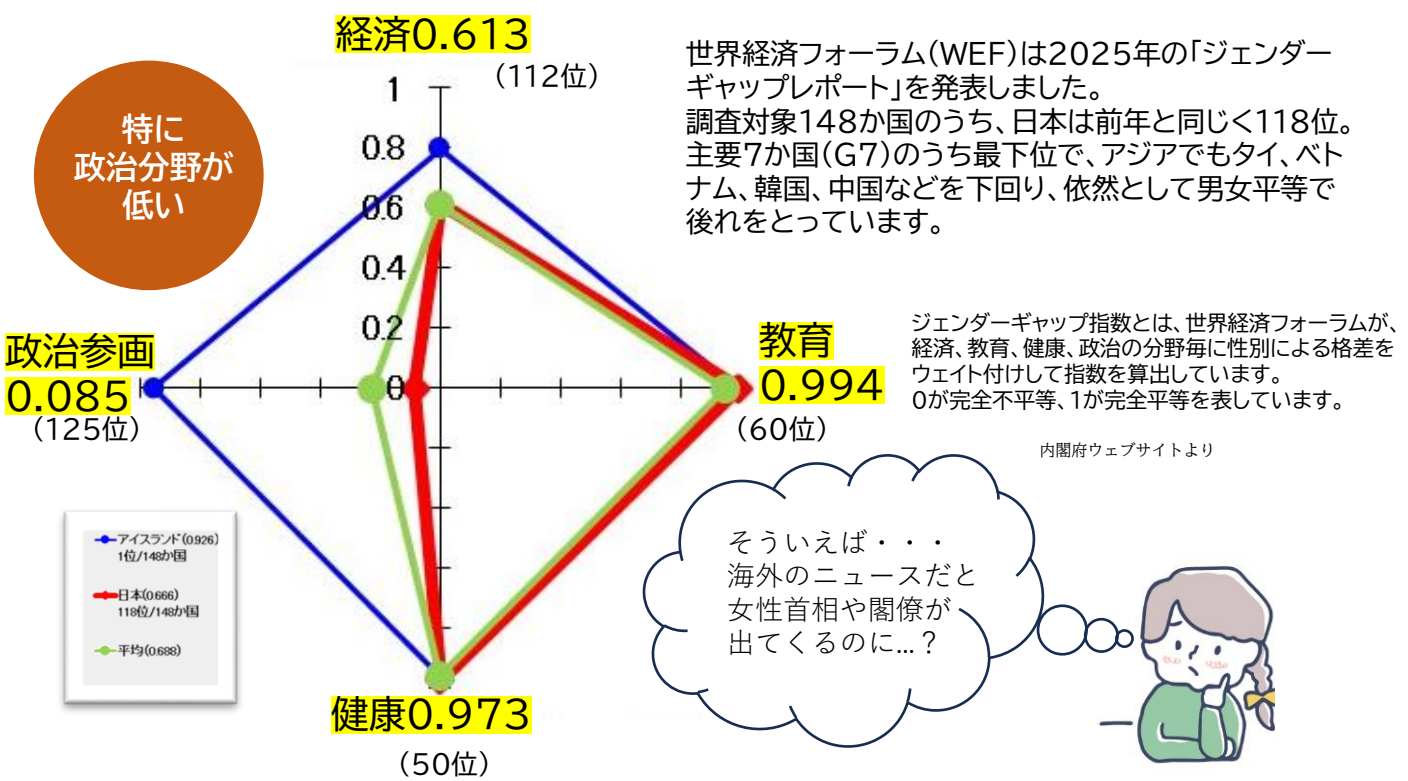


2025年

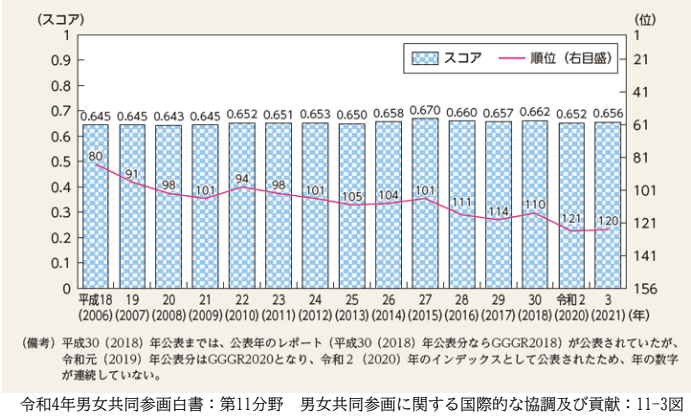
ジェンダーギャップ指数(GGI)は、118位 (/148国中)

政治参画分野で男女差が大きく、順位は横ばい



11-3 図 日本のジェンダー・ギャップ指数の推移

○平成18(2006)年にGGIが初めて公表された際の日本のスコアは、0.645で115か国中80位。その後スコアはほぼ横ばいとなっており、順位は下降。



スコアは横ばい・順位は低下→進まない日本

統計開始時の2006年、日本は80位。年々、他国のスコアが伸び、順位はG7で最下位、OECD加盟国でも低い順位です。

順位	国名	値
1	アイスランド	0.926
2	フィンランド	0.879
3	ノルウェー	0.863
4	英国	0.838
5	ニュージーランド	0.827
9	ドイツ	0.803
32	カナダ	0.767
35	フランス	0.765
42	米国	0.756

85	イタリア	0.704
101	韓国	0.687
103	中国	0.686
116	セネガル	0.670
117	アンゴラ	0.668
118	日本	0.666
119	ブータン	0.663
120	ブルキナファソ	0.659

内閣府ウェブサイトより

GGI以外の指数

未成年の望まぬ妊娠や、戦争などで女性が工場などに召集される、など一つの指数だけでは見えない各国の複雑な背景があります。

GDI ジェンダー開発指数

人間開発の3つの基本的な側面である健康、知識、生活水準における女性と男性の格差を測定し、人間開発の成果におけるジェンダー不平等を表している。

日本の順位: 89位/193か国(国連開発計画/2025.5.6発表)

GII ジェンダー不平等指数

ジェンダー不平等指数(GII)は、リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)、エンパワーメント、労働市場への参加の3つの側面で評価。

日本の順位: 22位/172か国(国連開発計画/2025.5.6発表)

第5次男女共同参画基本計画における成果目標

第1分野 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

目標「女性候補者割合35%」には届いていない

国会	目標	候補者の女性割合	選挙後の女性割合
衆議院議員	35%	23.4% (2024.10)	15.7% (2024.10)
参議院議員	35%	29.1% (2025.7)	29.4% (2025.7)

(参照) 朝日新聞社など

政治分野における
男女共同参画の推進に関する法律

政治分野における男女共同参画を効果的かつ積極的に推進し、男女が共同して参画する民主政治の発展に寄与することを目的に平成30年5月23日公布・施行。しかし、政治分野への女性の参画は徐々に進められているものの、諸外国と比べると大きく遅れているとされ、男女を問わず、立候補や議員活動等をしやすい環境整備などが必要として、令和3年6月16日改正されています。

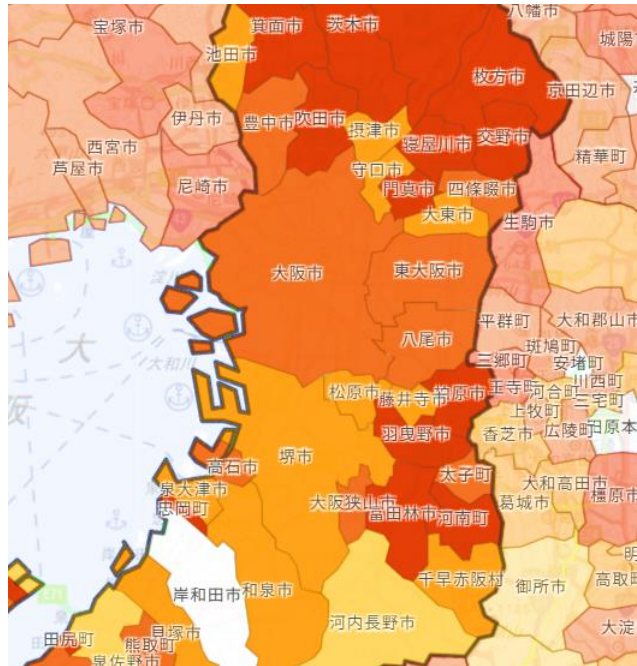
大阪府内の中核市で女性の政治参画状況を比較

豊中市
27.3%

「市議会議員」に占める女性は9人/33席

数値は内閣府ウェブサイトより(2025年8月末時点)

大阪府内市町村ランキング



30%以上
20%~30%未満
10%~20%未満
10%未満
0%
公表なし・データなし

ウェブサイト
市区町村女性参画状況見える化マップ
(内閣府)より部分抜粋(中核市)
ランキングは同サイトより財団が作成した

府内中核市で比較

吹田市
32.4%

高槻市
32.4%

枚方市
34.4%

八尾市
28.0%

寝屋川市
30.4%

東大阪市
21.1%

順位	市町村名	女性議員割合
1	豊能町	54.5%
2	箕面市	52.2%
3	河南町	50.0%
4	島本町	46.2%
5	交野市	40.0%
6	忠岡町	40.0%
7	富田林市	38.9%
8	羽曳野市	38.9%
9	枚方市	34.4%
10	茨木市	33.3%
11	吹田市	32.4%
12	高槻市	32.4%
13	柏原市	31.3%
14	寝屋川市	30.4%
15	門真市	30.0%
16	田尻町	30.0%
17	八尾市	28.0%
18	豊中市	27.3%
19	泉南市	26.7%
20	大阪市	25.9%

2025年8月末時点の市区町村女性参画状況見える化マップ(内閣府)より作成